

## 編集後記

「日本語日本文学第五号」をお届けします。本号には、安森先生、吉海先生、森山先生に論文を御執筆頂きました。また、書評として本間先生の『本朝無題詩全注釈二』について学外から藤原克己先生に、吉海先生の『源氏物語の視角』について宗雪修三先生に御執筆いただきました。ありがとうございます。

さていよいよ学芸学部日本語日本文学科も第一期の卒業生を送り出すことができました。卒業生の中から、立命館大学大学院へ進学された美濃千鶴さんから「坂口安吾『信長』論」の投稿があり、編集会議をへて掲載の運びとなりました。また、短期大学部日本語日本文学科と本会との協力で六月におこなわれました〈漱石ウィークス〉が成功裡に終わりましたこと、会員の皆様の御援助のたまものと思います。三回にわたる講演の中から、漱石のお孫さんでいらつしやうり、また在米の日本文学研究者でいらつしやうるマックレイン洋子先生から、本誌に特別寄稿をいただきました。お礼申しあげます。ますます本誌が充実していきますよう会員の皆様の御支援をお願いいたします。

(T)

### 編集委員

楠橋 開  
丸山 敬介  
森山 由紀子  
高桑 法子  
吉海 直人

一九九三年一〇月二五日 印刷  
一九九三年一〇月三〇日 発行

同志社女子大学

日本語日本文学 第五号

編集兼 同志社女子大学

発行者 日本語日本文学会

千六一〇〇三

京都府綴喜郡田辺町興戸南鉾立  
TEL (0774) 518541

代表者 廣瀬千紗子

印刷所 内外印刷株式会社

京都市南区吉祥院池田南町一三